学校番号	３２４

令和３年度　国語科

教科	国　語	科目	現代文Ｂ	単位数	3	年次	3
使用教科書	新編　現代文Ｂ　（東京書籍）						
副教材等	必携国語総合セミナー　改訂版　（浜島書店）						

1　担当者からのメッセージ

・３年生では社会人として必要な国語の力を身に付けることを心がけましょう。
・グループワークやプレゼンテーションなど、アクティブな活動を取り入れた授業も行います。
・様々な文章を「読む能力」を向上させるとともに、意思を伝えるための「書く能力」をしっかりと身に付けてください。
・予習として必ず本文を読んでおきましょう。授業の後には内容を振り返って復習してください。
・提出物の期限は守りましょう。定期考査は学習計画を立てて臨んでください。

2　学習の到達目標

・目的や場にふさわしい語句を選んで、適切に思いや考えを表現することができる。
・目的や場に応じて的確に文章の内容や構成、登場人物の心情を理解することができる。
・人間関係において、互いを尊重し、相互理解を深め、正しく意思を伝え合うことができる。
・言語感覚を磨き、論理的な思考力、豊かな想像力を場面に応じて活用することができる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
主たる評価方法	行動の観察 記述の点検 （ノート、ワークシート等）	行動の観察 （発表等のパフォーマンスの評価）	記述の確認及び分析 （ワークシート、原稿用紙）	記述の確認及び分析（ワークシート） 定期考査	行動の観察 記述の確認 （ノート、ワークシート等） 定期考査 小テスト
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。					

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1学期	新しい視点から	【近代以降】 教材: 「カフェの開店準備」	○			◎	○	a:随想に表れた筆者の心情やものを見る視点に関心をもち、理解を深めようとしている。 d:筆者が事実から仮説を導き出す論理を理解する。 e:主語と述語を正しく照応させて文章を書くことができている。	a:行動の観察及び記述の点検 d、e: 記述の確認及び定期考査及び小テスト
	生きるかたち	【近代以降】 教材: 「カンガルー日和」	○			◎	○	a:登場人物の関係と思いについて、整理して捉えようとしている。 d:作品の構成とストーリーの展開を把握して、登場人物の心情の変化を読み取る。 e:作品の優れた表現を読み味わい、語句の意味や表現上の工夫を調べることで、語彙力や表現力を養う。	a:行動の観察及び記述の点検 d、e: 記述の確認及び定期考査及び小テスト
	語彙力・論理力を付ける	【近代以降】 教材:必携国語総合セミナー	○		◎		○	a:文章の形態や文体、語句などに合った適切な表現の仕方で書こうとしている。 c:文章の形態や文体、語句などに合った適切な表現の仕方で書いている。 e:正しく理解し使いこなせる言葉の数を増やしている。	a、c、e: 記述の点検と確認及び小テスト及び定期考査
2学期	生きるかたち	【近代以降】 教材: 「山月記」	○			◎	○	a:中国の古典を基にした虎への変身譚の面白さがどのようなところにあるのか、理解しようとしている。 d:主人公の李徴が苦悩し、破滅し、再会した旧友に自らを語ることにより、自己をみつめ、変貌する姿を捉えている。 e:小説の緊密に計算された構成について理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 d、e: 記述の確認及び定期考査及び小テスト
	心のうた	【近代以降】 教材: 「竹」 「永訣の朝」 「一日の長さ」	○			◎	○	a:詩とは何か、どのような表現が詩なのか、考える。 d:各自作品から感じ取ったことを発表し、作品の多様な読みの可能性を考える。 e:。 イメージに語らせる現代詩の表現法を理解する。	a:行動の観察及び記述の点検 d、e: 記述の確認や発表、定期考査

2学期	時代をひらく	【近代以降】 教材: 「最初のペンギン」	○			◎	○	a:不確実な世界に生きる人間が未来を切り開くすべを考える筆者の思考を理解しようとする。 d: 具体例から導き出される主張を的確に把握する。 e: 文中の語彙の意味を的確につかむ。	a:行動の観察及び記述の点検 d、e: 記述の確認と分析及び定期考査及び小テスト
	語彙力・論理力を付けるⅡ	【近代以降】 教材:必携国語総合セミナー	○		◎		○	a:文章の形態や文体、語句などに合った適切な表現の仕方で書こうとしている。 c:文章の形態や文体、語句などに合った適切な表現の仕方で書いている。 e:正しく理解し使いこなせる言葉の数を増やしている。	a、c、e: 記述の点検と確認及び小テスト及び定期考査
3学期	知のゆくえ	【近代以降】 教材: 「鞄」	○			◎	○	a: 作品の寓意について考え、人間存在の在り方についての考察を深める。 d: 登場人物の心理などを、文章をもとにして正確に読み取る。 e: 結末部分を読み取り、作者が投げかける問を考える。	a:行動の観察及び記述の点検 d、e: 記述の確認と分析及び定期考査及び小テスト
	語彙力・論理力を付けるⅢ	【近代以降】 教材:必携国語総合セミナー	○		◎		○	a:文章の形態や文体、語句などに合った適切な表現の仕方で書こうとしている。 c:文章の形態や文体、語句などに合った適切な表現の仕方で書いている。 e:正しく理解し使いこなせる言葉の数を増やしている。	a、c、e: 記述の点検と確認及び小テスト及び定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力　c:書く能力
d:読む能力　e:知識・理解

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。